



日本商工会議所 会頭

岡村 正

(株)東芝 相談役

『個が光るイノベーション』で日本経済復活の礎を

平成23年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

日本経済は、昨年前半に持ち直しの動きが見られたものの、現在は足踏み状態が続いています。こうした中、日本経済が自律的な景気回復を果たし、持続的な成長を実現するには、政府が策定した「新成長戦略」の具体化に、官民一体でスピード感を持って取り組むことが重要です。

中でも、地域経済と雇用を支える中小企業の活力強化なくして、真の成長実現はあり得ないと考えています。私は、新成長戦略実現会議などの場を通じて、中小企業を「新成長戦略」実現の中核的な担い手として位置付け、中小企業が参画できるより多くのプロジェクトが具現化されるよう働き掛けてまいる所存です。

地域経済の活性化や中小企業の活力強化に向けては、商工会議所自らが、これまで以上に取り組みを強化・推進することも重要です。このため、商工会議所の運営について、3つの基本方針を示させていただきます。

第一は、現場主義の徹底です。地域

経済の活性化を实のあるものに具現するためには、この地域をどのような形にするのか、という「ビジョン」を、企業・市民・行政が共有しなければなりません。商工会議所が地域の核として先頭に立ち、コーディネーターの役割を果たす必要があります。そのためにも、地道な「全会員訪問」活動を通して、「現場の生の声」を意識していきたいと存じます。

第二は、潮流変化に対峙するイノベーションの推進です。世界的な潮流変化の波が押し寄せる中、中小企業は生き残りを懸けてイノベーションに取り組まなければならない時代を迎えています。

世界経済の一体化が進む中、中小企業も積極的に海外展開を図っていくことが求められています。「中小企業国際化支援特別委員会」を中核として、商工会議所のグローバルネットワーク化を進め、会員企業や地域の国際化への取り組み支援を強化していく所存です。

また、市場競争力を強化するために、生産性向上が不可欠です。ITを

戦略的に活用し、具体的な業務改革に結び付けるべく、「IT経営推進専門委員会」を中心に、本格的なIT経営導入とさらなるイノベーションを促進させたいと考えております。

基本方針の第三は、商工会議所自身の「組織イノベーション」です。商工会議所自らも活動理念や組織のあり方を見直し、潮流変化に対応する態勢を整えていかなければなりません。日商と各地商工会議所のネットワークをより強固なものとし、広域連携や農商工連携など、商工会議所の連携活動をさらに進めてまいります。

本年は、これら基本方針に沿った取り組みを鋭意進めるとともに、「事業者の声を集約し社会に訴える」という「洪沢栄一翁の思いを堅持し、日本経済の礎を築くべく、「個が光るイノベーション」の推進に注力していきたいと考えます。

結びに、皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げますとともに、商工会議所活動に対する一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。